

福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 恒徳 田 圭寸

住職 橋 本 尚 信

三教指帰の教え

——お大師様の著作から——

今回はお大師様（弘法大師・空海の著作の一つ三教指帰（さんごうしいき））について考えてみましょう。

三教指帰はお大師様が二十四才の時に書かれたもので、数ある著作物の中で若い頃の代表作であります。お大師様は十八才で大学に入ったものの、官吏養成のための教育機関に飽き足らず大学を止めてしまい、四国・近畿各地の山野を跋渉して修行

していました。修行生活をしながらお大師様が本格的に佛教を極めようと心に決めた頃であり、その様な時期に書いたものがこの三教指帰であります。ですからこの三教指帰はお大師様の出家の宣言書としての意味合いが強いものであります。その内容を見てみましょう。三教とは儒教、道教、佛教の三つの教えであります。指帰とは指し示す

ということ、儒道仏の三つの教えの指し示すものという題名です。

これをお大師様は戯曲風にまとめ、三幕に仕立て上げています。

登場人物は

○亀毛（きもう）先生……儒教の師

○虚亡隠士（きょぶいんし）……道教の師

道教の師

○仮名乞児（かめいこつじ）……佛教の修行者

佛教の修行者

○兎角公（とかくこう）……館の主人

○蛭牙公子（しつがこうし）……放蕩者の兎角公の甥

放蕩者の兎角公の甥

以上の五人です。

第一幕は兎角公の強い要請で、亀毛先生が放蕩生活している蛭牙公子を立ち直らせる為、儒教の教えである忠義と孝行を説いて、蛭牙公子に立身出世や親への孝養の大切さを諭す場面が展開されます。

第二幕は虚亡隠士が、道教の不老不死を得る術で仙人の様に天空を駆け巡り、俗世界を捨て清浄潔白な生

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

恒例の新年厄除け護摩を一月八日

午後一時より修行致します。護摩を

焚く修行は、近年いろいろな所でさ

れていますが、正統に受け継がれて

いるのは密教寺院であります。福田

寺は、京都・東寺を本山とする真言

密教の寺で、創建以来八百七十年余

密教寺院としての歴史を刻んで参り

ました。

檀家以外の方でも勿論結構ですの

で、皆様お揃いで新年の護摩供養に

お参り下さい。

記

期日・・・一月八日、午後一時より

祈祷料・・・三千元

祈祷内容・・・厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、

交通安全、商売繁盛、業運繁栄、

学業成就、合格祈願、安産祈願、

子授け祈願、その他

申し込み・・・一月七日まで、電話可

電話 0465(36) 2755

FAX 0465(37) 6688

平成二十三年厄年

男性

前厄 昭和四十六年生まれ

本厄 昭和四十五年生まれ

後厄 昭和四十四年生まれ

女性

前厄 昭和五十五年生まれ

本厄 昭和五十四年生まれ

後厄 昭和五十三年生まれ

一元日祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職に

より新年の御祈祷が修法されま

す。ご自由に参拝ください。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、

暮れのお参りの時に、本堂入り

口に用意された納め場所に納め

て下さい。特に大きなものや、

燃えないものは、寺の者に連絡

してください。

年回のお告知りせ

来年度の年忌(年回)法要の

張り紙を本堂に掲げておきます

ので暮れのお参りのときに自分

の家の年忌を確認して下さい。

年忌に相当している場合、法要

の日取りを早めに連絡して下さい。